

区立九段小学校・幼稚園改築工事の状況について

1. 学級数増への対応

九段小学校新校舎の計画段階では、1学年2学級、全校で12学級の整備を基本に、将来の学級増の対応及び少人数指導など多様な教育実践への対応を鑑み、15教室を整備することとした。

しかし、当初の予想を上回る児童数の増加が見込まれる状況となり、開校後まもなく学級数が15学級を超えるとともにしばらく児童数の増傾向が続く可能性が高い。そのため、現行の整備計画を見直し、開校時に普通教室18教室を整備する計画に変更する。

【参考】 九段小学校 年度別クラス見込み数

年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
クラス数	12	13	14	15	16	17	18	18

○ 計画変更案（2階及び3階平面図は別紙を参照）

新校舎西棟2階の多目的室及び図書室2（読み聞かせなど低学年向けの図書室）を計画したスペースに、普通教室3室を新たに配置する。

それに伴い、従前2階と3階に分かれていた図書室にコンピュータ室の機能を付加したスペースを西棟3階に配置し、整備する。

2. 工期の延長等について（別添 参考資料 参照）

本件工事は、平成27年11月に着工し平成30年1月末竣工としていた。

しかし、工事を進めるに当たり、

- ①北側擁壁裏に通常の砂利ではなくコンクリートであることが発覚し、工法の変更が必要となった。
- ②既存校舎解体作業中に障害物が出現した。

これにより、現段階で 2.5カ月の工期延長が確実となっている状況である。